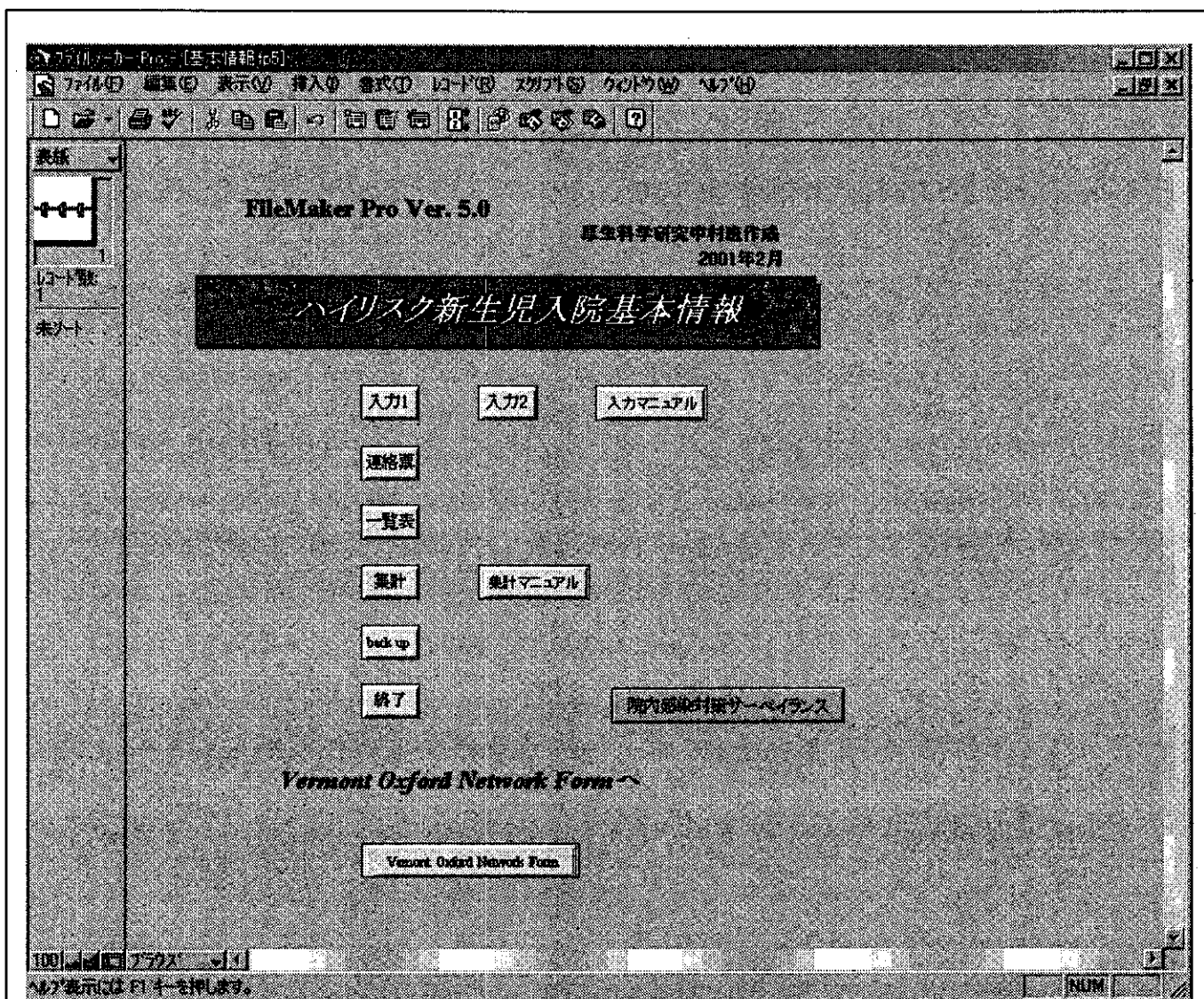


画面レイアウト	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門	作成日 平成14年10月31日
	厚生科学研究中核表紙画面	作成者 シスメック・エンジニアリング



備考欄

1. 院内感染対策サーベイランスボタンを押下することにより、院内感染対策サーベイランスNICU部門入力画面に遷移する。

画面レイアウト	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門	作成日 平成 14 年 10 月 31 日
	新生児基本情報入力画面 (その一)	作成者 システムランニングコーポレーション

NICU感染症サーベイランス用新生児基本情報

施設コード

患者ID: _____

性別: _____ 出生年月日: _____ 年 月 日 時 分 第 子

母年齢: _____ 産 科 院 回 分娩回数: _____ 胎 児 回 胎 児 数

単胎・多胎 _____ 出生区分 _____

NICU入院 _____ 年 月 日 時 分 (生後 時間 分 入院日数)

予定年月日 _____ 年 月 日 在胎 週 日

出生時計測値 体重 _____ g 身長 _____ cm 頭圍 _____ cm 胸圍 _____ cm

Apgarスコア 1分値 _____ 点 5分値 _____ 点 胎児心拍異常 _____ CRIB score _____

新生児: なし マスク 心マッサージ 不明
 酸素 挿管 エピネフリン

母体感染症: _____ 使用薬剤: _____

分娩部位: _____ なし
分娩方法: _____ ステロイド剤
産科的合併症: _____ 陣痛抑制剤
 なし 胎盤早期剥離 リドリン
 切迫早産 羊水過少 硫酸マグネシウム
 前置胎盤 羊水過多 インドメタシン
 前期破水 羊水混濁 その他の陣痛抑制剤
 絨毛羊膜炎 その他 陣痛促進剤
 抗生物質
 その他

母体使用抗生物質 _____

臨床経過:

退院年月日: _____ 年 月 日 時 分 転院: _____ 剖検: _____

日齢: _____ 修正: _____ 週 入院期間: _____ 診療点数: _____ 退院時病名: _____

退院時計測値: _____ 胎児点数: _____

体重 _____ g 身長 _____ cm 頭圍 _____ cm 胸圍 _____ cm

感染症による後遺症: _____

後遺症の内容: _____

特記すべきことなし
 要酸素投与
 要モニター
 要理学療法
 要経管栄養
 養育上での問題
 気管切開
 要人工換気

備考欄

1. 感染症入力ボタンを押下することにより、新生児感染情報入力画面 (敗血症) に遷移する。
2. 施設情報ボタンを押下することにより、施設情報入力画面に遷移する。
3. 報告データ出力ボタンを押下することにより、サーベイランス提出用データ出力画面に遷移する。
4. 中表紙ボタンを押下することにより、厚生科学研究中表紙画面に遷移する。
5. CRIBscore ボタンを押下することにより、CRIBスコア入力画面に遷移する。

※上記画面下部は次ページに続く

画面レイアウト	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門	作成日 平成14年10月31日
	新生児基本情報入力画面 (その二)	作成者 シブタツニゴホレシヨ

3歳時における 発達子後: _____ 神経学的子後: _____

養育上での問題
 気管切開
 要人工換気

経腸栄養開始時のミルク _____
 出生体重へ復帰した日齢: _____
 経腸栄養で00ml/kg/日に達した日齢: _____
 経腸栄養が最大一定となるまでのミルク内容の比率 _____
 慢性肺疾患: _____ 腸管内出血: _____
 けいれん: _____ 日齢: _____ ~ _____
 CysticPVL: _____ その他の合併症: _____
 網膜症: _____

S-TA使用: _____ インドメタシリン: _____
 HFO: _____ 吸入ステロイド療法: _____
 MCPAP: _____ 全身ステロイド使用: _____
 NO使用: _____
 光線療法: _____ 日間
 交換輸血: _____ 回
 BCMO: _____

項目	日齢	延べ	日間	手術日齢
股系投与:	_____	_____	_____	_____
人工換気:	_____	_____	_____	_____
中心静脈カテ:	_____	_____	_____	_____
高カロリー輸液:	_____	_____	_____	_____
臍帯動脈カテ:	_____	_____	_____	_____
臍帯静脈カテ:	_____	_____	_____	_____
末梢動脈カテ:	_____	_____	_____	_____
膀胱留置カテ:	_____	_____	_____	_____
経鼻栄養チューブ:	_____	_____	_____	_____
十二指腸栄養チューブ:	_____	_____	_____	_____
入院中一時転棟	_____	_____	_____	_____
転棟期間	_____	_____	_____	_____
動脈管結紮術:	_____	_____	_____	_____
壊死性腸炎手術:	_____	_____	_____	_____
網膜症発症術:	_____	_____	_____	_____
気管切開術:	_____	_____	_____	_____
その他の手術:	_____	_____	_____	_____
胸腔ドレナージ:	_____	_____	_____	_____
腹腔ドレナージ:	_____	_____	_____	_____
脳室ドレナージ:	_____	_____	_____	_____
VPシャント:	_____	_____	_____	_____
オンマヤアパー:	_____	_____	_____	_____

入院中一時転棟 転棟先 _____

転棟期間 日齢 _____ ~ _____ 延べ _____ 日間 _____

備考欄

画面レイアウト	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門	作成日 平成14年10月31日
	新生児感染情報入力画面 (敗血症)	作成者 沼田 ランゴユホレーション

NICU感染症サーベイランス用感染情報 施設コード

<感染症関連データ> 患児 ID-NO 患児氏名

発症日 発症日齢 治療開始日齢 治療終了日齢

感染症入力

敗血症 肺炎 髄膜炎/脳室炎 尿路感染 血液感染 NICU 肺炎 ガンジタ MRSA SSSS 日炎 その他

〔種別別〕敗血症(敗血症)の定義は以下の通り。以上の項目に該当する場合は新生児敗血症と診断する

敗血症 発熱(38.5℃以上)または低体温(36.5℃未満) 末梢循環不全(四肢末端の蒼白、浸潤性)

呼吸器(20%)以上の呼吸不全(80%未満) 胸部影像異常

心臓(20%)以上の心臓不全(50%未満) 肝臓(20%)以上の肝臓機能異常

腎臓(20%)以上の腎臓機能異常 腸管(20%)以上の腸管機能異常

血液培養陽性(50%未満) 髄液培養陽性(50%未満)

敗血症 末梢循環不全(四肢末端の蒼白、浸潤性)

呼吸器(20%)以上の呼吸不全(80%未満) 胸部影像異常

心臓(20%)以上の心臓不全(50%未満) 肝臓(20%)以上の肝臓機能異常

腎臓(20%)以上の腎臓機能異常 腸管(20%)以上の腸管機能異常

血液培養陽性(50%未満) 髄液培養陽性(50%未満)

敗血症 末梢循環不全(四肢末端の蒼白、浸潤性)

呼吸器(20%)以上の呼吸不全(80%未満) 胸部影像異常

心臓(20%)以上の心臓不全(50%未満) 肝臓(20%)以上の肝臓機能異常

腎臓(20%)以上の腎臓機能異常 腸管(20%)以上の腸管機能異常

血液培養陽性(50%未満) 髄液培養陽性(50%未満)

CRP(最高値) 白血球(最高値) 血小板(最低値) 血液カスBE(最低値)

原因菌種名

原因菌の性質

陽性検体材料 使用抗菌剤1 使用抗菌剤3

検体番号 使用抗菌剤2 使用抗菌剤4

検体保存

抗生物質感受性リスト(SIR)

薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果
A3PC		CAZ	R	AZT		MIND		CTX	
PIPC		CMZ		S/C		LYFX		CTRX	
C-Z		LMOX		GM		OPFX			
CTM		IPM		AMK		ST			

併用治療

アグロゲン投与 G-CSF投与 外科的処置(穿刺・排膿) その他

血液製剤投与 交換輸血 顆粒球輸注

- 備考欄
1. 基本情報入力ボタンを押下することにより、新生児基本情報入力画面に遷移する。
 2. 施設別情報ボタンを押下することにより、施設別情報入力画面に遷移する。
 3. 報告データ出力ボタンを押下することにより、サーベイランス提出用データ出力画面に遷移する。
 4. 感染症入力欄での各感染症タブを選択することにより、当該感染症診断基準入力頁に切り替わる。

画面レイアウト	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門	作成日 平成14年10月31日
	新生児感染情報入力画面 (肺炎)	作成者 システムプランニングコーポレーション

NICU感染症サーベイランス用感染情報 施設コード

<感染症関連データ> 患児ID-NO 患児氏名

発症日 発症日齢 治療開始日齢 治療終了日齢

感染症入力

CRP(最高値) 白血球(最高値) 血小板(最低値) 血液ガスBE(最低値)

原因菌種名

原因菌の性質

陽性検体材料 使用抗菌剤1 使用抗菌剤3

検体番号 使用抗菌剤2 使用抗菌剤4

検体保存

抗生物質感受性リスト(SIR)

薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果
A3PC		CAZ	R	AZI		MINO	
PIPC		CMZ		S/C		LYFK	
C-Z		LMOX		GM		CPFX	
CTM		TPM		AMK		ST	

併用治療

ヲキサリリン投与
 G-CSF投与
 外科的処置(穿刺・排膿)
 その他

血液製剤投与
 交換輸血
 顆粒球輸注

備考欄

1. 基本情報入力ボタンを押下することにより、新生児基本情報入力画面に遷移する。
2. 施設情報入力ボタンを押下することにより、施設情報入力画面に遷移する。
3. 報告データ出力ボタンを押下することにより、サーベイランス提出用データ出力画面に遷移する。
4. 感染症入力欄での各感染症タブを選択することにより、当該感染症診断基準入力頁に切り替わる。
5. 非挿管例ボタンを押下することにより、肺炎(非挿管例頁)に切り替わる。
6. 挿管例ボタンを押下することにより、肺炎(挿管例頁)に切り替わる。

画面レイアウト	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門	作成日 平成 14 年 10 月 31 日
	新生児感染情報入力画面 (肺炎/非挿管例)	作成者 シブム ランゴ ユポレーション

NICU感染症サーベイランス用感染情報 施設コード

<感染症関連データ> 患児 ID-NO 患児氏名

発症日 発症日齢 治療開始日齢 治療終了日齢

感染症入力

敗血症 肺炎 髄膜炎/脳室炎 尿路感染 血流感染 NEC 腸炎 カンジダ NTD SSS 肝臓 その他

《非挿管例》

(確定診断) 条件1の1つ以上、かつ条件2および条件3の2つ以上に該当する場合に肺炎と診断する

条件1

浸潤影
 不透明像
 胸水貯留

条件2

無呼吸(20秒以上)または低換(80/分未満)または安静時呼吸(180/分を超す)
 新たに生じた多呼吸(60/分を超す)
 新たに生じた呼吸困難(陥没呼吸、鼻翼呼吸、呻吟)
 フロウもしくは呼吸音減弱
 人工呼吸器設定条件を上げざるを得なくなった

条件3

血液培養において病原体を検出する
 呼気道分泌液より病原体抗原を検出する
 CRP>1.0mg/dl
 幼稚好中球数/総好中球数>0.2

CRP(最高値) 白血球(最高値) 血小板(最低値) 血液ガスBE(最低値)

原因菌種名

原因菌の性質

陽性検体材料 使用抗菌剤1 使用抗菌剤3

検体番号 使用抗菌剤2 使用抗菌剤4

検体保存

抗生物質感受性リスト(SIR)

薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果
A3PC		CAZ	R	AZT		NTNO		CTX	
PIPC		CMZ		S/C		LVFX		CTRX	
C3Z		LMCX		GM		OPFX			
OTM		IPM		ANK		ST			

併用治療

ヲグロゲン投与 G-CSF投与 外科的処置(穿刺・排膿) その他
 血液製剤投与 交換輸血 顆粒球輸注

- 備考欄
- 基本情報入力ボタンを押下することにより、新生児基本情報入力画面に遷移する。
 - 施設情報ボタンを押下することにより、施設情報入力画面に遷移する。
 - 報告データ出力ボタンを押下することにより、サーベイランス提出用データ出力画面に遷移する。
 - 感染症入力欄での各感染症タブを選択することにより、当該感染症診断基準入力頁に切り替わる。

画面レイアウト	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門	作成日 平成14年10月31日
	新生児感染情報入力画面 (肺炎/挿管例)	作成者 浜田ラングコーポレーション

NICU感染症サーベイランス用感染情報 施設コード

<感染症関連データ> 患児 ID-NO 患児氏名

発症日 発症日齢 治療開始日齢 治療終了日齢

感染症入力

肺炎 髄膜炎/脳室炎 尿路感染 血液培養 NEC 腸炎 ガンダ NTED SIRS 肺炎 その他

《肺炎例》

(確定診断) 条件1の2つ以上に該当し、かつ条件2および条件3の2つ以上に該当する場合に肺炎と診断する

条件1

胸部X線
 不透明影
 胸水貯留

条件2

無呼吸(20秒以上)または徐脈(80/分未満)または安静時脈率(100/分を越す)
 新たに生じた多呼吸(80/分を越す)
 新たに生じた呼吸困難(陥没呼吸、鼻翼呼吸、呻吟)
 呼吸、もしくは呼吸音減弱
 人工呼吸器設定条件を上げざるを得なくなった

条件3

気管より膿性の分泌物を認め、気管内吸引液より病原体を検出する
 血液培養において病原体を検出する
 気管内吸引液より病原体を検出する
 CRP $\geq 1.0 \text{mg/dl}$
 幼稚好中球数/総好中球数比 > 0.2

CRP(最高値) 白血球(最高値) 血小板(最低値) 血液ガスBE(最低値)

原因菌種名

原因菌の性質

陽性検体材料 使用抗菌剤1 使用抗菌剤3

検体番号 使用抗菌剤2 使用抗菌剤4

検体保存

抗生物質感受性リスト(SIR)

薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果
A3PC		CAZ	R	AZI		MINO		CTX	
PIPC		CMZ		S/C		LVFX		CTRX	
DZ		LMOX		GM		OPFX			
CTM		IPM		AMK		ST			

併用治療

アダグリン投与 G-CSF投与 外科的処置(穿刺・排膿) その他
 血液製剤投与 交換輸血 顆粒球輸注

備考欄

- 基本情報入力ボタンを押下することにより、新生児基本情報入力画面に遷移する。
- 施設情報ボタンを押下することにより、施設情報入力画面に遷移する。
- 報告データ出力ボタンを押下することにより、サーベイランス提出用データ出力画面に遷移する。
- 感染症入力欄での各感染症タブを選択することにより、当該感染症診断基準入力頁に切り替わる。

画面レイアウト	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門	作成日 平成14年10月31日
	新生児感染情報入力画面 (髄膜/脳室炎)	作成者 シフトランニングコーポレーション

NICU感染症サーベイランス用感染情報 施設コード

<感染症関連データ> 患児 ID-NO 患児氏名

発症日 発症日齢 治療開始日齢 治療終了日齢

感染症入力

敗血症 肺炎 髄膜/脳室炎 髄膜炎 血液感染 尿路感染 NEC 腸炎 カンジダ NTDP SSS 肝炎 その他

(確定診断)条件1の1つ以上に該当する場合に髄膜炎・脳室炎と診断する
 ただし、2項の場合はさらに条件2の1つ以上に該当した場合に限り診断とする

条件1 髄液(CSF)から微生物が培養される
 他の原因を認めないで、発熱・大泉門膨隆・後弓反張・髄膜刺激症状・脳神経学的症状・過敏症の2つにあてはまる

条件2 CSF中の白血球の増加、蛋白の増加、かつ/またはブドウ糖の減少
 CSFのグラム染色で微生物が認められる
 血液から微生物が培養される
 CSF・血液・尿の検査で抗原陽性(GBS/ヘモフィルス・髄膜炎菌など)
 病原体に対してシングル血清でIgM高値かまたはペア血清でIgGが4倍以上上昇する

※ただし、脳室炎で感染発症前・中に以下のデバイスが留置している場合は選択すること

オンマヤ・リザーバー
 脳室外ドレナージ
 VPシャント

CRP(最高値) 白血球(最高値) 血小板(最低値) 血液ガスBE(最低値)

原因菌種名
 原因菌の性質
 陽性検体材料 使用抗菌剤1 使用抗菌剤3
 検体番号 使用抗菌剤2 使用抗菌剤4
 検体保存

抗生物質感受性リスト(SIR)

薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果
A3PC		CAZ	R	AZI		MINO		CTX	
PIPC		CMZ		S/C		LYFX		CTRX	
OZ		LMOX		GM		CPFX			
CTM		IPM		AMK		ST			

併用治療

アグログリン投与 G-CSF投与 外科的処置(穿刺・排膿) その他
 血液製剤投与 交換輸血 顆粒球輸注

- 備考欄
1. 基本情報入力ボタンを押下することにより、新生児基本情報入力画面に遷移する。
 2. 施設情報ボタンを押下することにより、施設情報入力画面に遷移する。
 3. 報告データ出力ボタンを押下することにより、サーベイランス提出用データ出力画面に遷移する。
 4. 感染症入力欄での各感染症タブを選択することにより、当該感染症診断基準入力頁に切り替わる。

画面レイアウト	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門	作成日 平成14年10月31日
	新生児感染情報入力画面 (尿路感染)	作成者 浜田プランニングコーポレーション

NICU感染症サーベイランス用感染情報 施設コード

<感染症関連データ> 患児 ID-NO 患児氏名

発症日 発症日齢 治療開始日齢 治療終了日齢

感染症入力

敗血症 肺炎 髄膜炎/脳室炎 尿路感染 血液感染 NEC 腸炎 腸穿孔 NTBD ESRSS 肺炎 その他

(確定診断) 条件1の1つ以上に該当し、かつ条件2の1つ以上に該当する場合に尿路感染症と診断する

条件1

- 発熱(38度)
- 体温低下(<37度)
- 無呼吸
- 徐脈
- 呼吸困難
- 傾眠
- 嘔吐

条件2

- 尿培養で陽性(1mlあたりの細菌数が10⁵以上ある) かつ2種類以下の微生物が確認される
- 尿検査用スティックで白血球エステラーゼと硝酸塩試験のどちらか一方あるいは両方が陽性である
- 遠心沈殿していない尿で、尿白血球 ≥ 10 個/mm³、あるいは尿白血球 ≥ 3 個/400倍視野である
- 遠心沈殿していない尿のグラム染色で微生物が確認される
- 無菌的に採取された尿より、少なくとも2回続けて同じ種類の尿路感染起炎菌(グラム陰性桿菌、またはS. seprothyticus)が $\geq 10^2$ コロニー/ml分離される

CRP(最高値) 白血球(最高値) 血小板(最低値) 血液ガスBE(最低値)

原因菌種名

原因菌の性質

陽性検体材料 使用抗菌剤1 使用抗菌剤3

検体番号 使用抗菌剤2 使用抗菌剤4

検体保存

抗生物質感受性リスト(SIR)

薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果
A3PC		CAZ	R	AZT		MINO		CTX	
PIPC		CMZ		S/C		LVFX		CTRX	
CEZ		LMOX		GM		OPFX			
OTM		IPM		AMK		ST			

併用治療

ヲガロゲン投与 G-CSF投与 外科的処置(穿刺・排膿) その他
 血液製剤投与 交換輸血 顆粒球輸注

- 備考欄
1. 基本情報入力ボタンを押下することにより、新生児基本情報入力画面に遷移する。
 2. 施設情報入力ボタンを押下することにより、施設情報入力画面に遷移する。
 3. 報告データ出力ボタンを押下することにより、サーベイランス提出用データ出力画面に遷移する。
 4. 感染症入力欄での各感染症タブを選択することにより、当該感染症診断基準入力頁に切り替わる。

画面レイアウト	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門	作成日 平成14年10月31日
	新生児感染情報入力画面 (血流感染)	作成者 システム・ラング・コーポレーション

NICU感染症サーベイランス用感染情報 施設コード

<感染症関連データ> 患児 ID-NO 患児氏名

発症日 発症日齢 治療開始日齢 治療終了日齢

感染症入力

敗血症 肺炎 髄膜炎/脳室炎 尿路感染 血液感染 NEC 腸炎 カンジダ NYCTD SSSS 肝炎 その他

条件のすべてをよみ条件の1つ以上に該当する場合に血液感染と判断する

条件1 白血球は発症の血液培養から微生物が確認される
 発症より1週間以内の他の部位の感染(菌血症、髄膜炎、尿路感染、腸炎)で認められる
 発症より発症後2週間以内の他の部位の感染

条件2 発症より発症後2週間以内の発症後2週間以内
 発症より発症後2週間以内の発症後2週間以内

条件3 発症後2週間以内の発症後2週間以内
 発症後2週間以内の発症後2週間以内

CRP(最高値) 白血球(最高値) 血小板(最低値) 血液ガスBE(最低値)

原因菌種名

原因菌の性質

陽性検体材料 使用抗菌剤1 使用抗菌剤3

検体番号 使用抗菌剤2 使用抗菌剤4

検体保存

抗生物質感受性リスト(SIR)

薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果
A3PC		CAZ	R	AZI		WIND	
PIPC		CMZ		S/C		LYFX	
CEZ		LMOX		GM		OPFX	
CTM		IPM		AMK		ST	

併用治療

ヱグロニン投与 C-CSF投与 外科的処置(穿刺・排膿) その他

血液製剤投与 交換輸血 顆粒球輸注

- 備考欄
1. 基本情報入力ボタンを押下することにより、新生児基本情報入力画面に遷移する。
 2. 施設情報ボタンを押下することにより、施設情報入力画面に遷移する。
 3. 報告データ出力ボタンを押下することにより、サーベイランス提出用データ出力画面に遷移する。
 4. 感染症入力欄での各感染症タブを選択することにより、当該感染症診断基準入力頁に切り替わる。

画面レイアウト	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門	作成日 平成14年10月31日
	新生児感染情報入力画面 (NEC)	作成者 シブサランニングコーポレーション

NEC

NICU感染症サーベイランス用感染情報 施設コード

<感染症関連データ> 患児 ID-NO 患児氏名

発症日 発症日齢 治療開始日齢 治療終了日齢

感染症入力

敗血症 肺炎 髄膜炎/脳室炎 尿路感染 血液感染 NEC 肝臓 ガンダ NTRE SSS 肝臓 その他

(注) (注) 以下の条件のすべてに該当する場合に陽性結果と判断する

① 血液培養陽性結果 (2回以上) あり

② 髄液培養陽性結果 (1回以上) あり

③ 尿培養陽性結果 (1回以上) あり

④ 呼吸器培養陽性結果 (1回以上) あり

⑤ 血液培養陽性結果 (1回以上) あり

⑥ 髄液培養陽性結果 (1回以上) あり

⑦ 尿培養陽性結果 (1回以上) あり

⑧ 呼吸器培養陽性結果 (1回以上) あり

⑨ 血液培養陽性結果 (1回以上) あり

⑩ 髄液培養陽性結果 (1回以上) あり

⑪ 尿培養陽性結果 (1回以上) あり

⑫ 呼吸器培養陽性結果 (1回以上) あり

Stage分類

CRP (最高値) 白血球 (最高値) 血小板 (最低値) 血液カスBE (最低値)

原因菌種名

原因菌の性質

陽性検体材料 使用抗菌剤1 使用抗菌剤3

検体番号 使用抗菌剤2 使用抗菌剤4

検体保存

抗生物質感受性リスト (SIR)

薬名	検査結果	薬名	検査結果	薬名	検査結果	薬名	検査結果	薬名	検査結果
A3PC		CAZ	R	AZT		MIND		CTX	
PIPC		CMZ		S/C		LYFK		CTRX	
CEZ		LMOX		GM		CPFX			
CTM		IPM		AMK		ST			

併用治療

アグログリン投与 G-CSF投与 外科的処置 (穿刺・排膿) その他

血液製剤投与 交換輸血 顆粒球輸注

備考欄

1. 基本情報入力ボタンを押下することにより、新生児基本情報入力画面に遷移する。
2. 施設情報ボタンを押下することにより、施設情報入力画面に遷移する。
3. 報告データ出力ボタンを押下することにより、サーベイランス提出用データ出力画面に遷移する。
4. 感染症入力欄での各感染症タブを選択することにより、当該感染症診断基準入力頁に切り替わる。
5. Stage分類ボタンを押下することにより、Bellらによる新生児致死性肺炎のStage分類表示画面に遷移する。

画面レイアウト	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門	作成日 平成14年10月31日
	新生児感染情報入力画面 (腸炎)	作成者 シブムラングコホレーション

NICU感染症サーベイランス用感染情報 施設コード

<感染症関連データ> 患児 ID-NO 患児氏名

発症日 発症日齢 治療開始日齢 治療終了日齢

感染症入力

CRP (最高値) 白血球 (最高値) 血小板 (最低値) 血液ガスBE (最低値)

原因菌種名
 原因菌の性質
 陽性検体材料 使用抗菌剤1 使用抗菌剤3
 検体番号 使用抗菌剤2 使用抗菌剤4
 検体保存

抗生物質感受性リスト (SIR)

薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果
A3PC		CAZ	R	AZT		MIND	
PIPC		CMZ		S/C		LYFX	
C3Z		LMOX		GM		DPFX	
GTM		IPM		AMK		ST	

併用治療

ヲグロゲン投与
 G-CSF投与
 外科的処置 (穿刺・排膿)
 その他
 血液製剤投与
 交換輸血
 顆粒球輸注

- 備考欄
1. 基本情報入力ボタンを押下することにより、新生児基本情報入力画面に遷移する。
 2. 施設情報ボタンを押下することにより、施設情報入力画面に遷移する。
 3. 報告データ出力ボタンを押下することにより、サーベイランス提出用データ出力画面に遷移する。
 4. 感染症入力欄での各感染症タブを選択することにより、当該感染症診断基準入力頁に切り替わる。

画面レイアウト	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門	作成日 平成14年10月31日
	新生児感染情報入力画面 (カンジダ)	作成者 システムプランニングコーポレーション

NICU感染症サーベイランス用感染情報 施設コード

<感染症関連データ> 患児 ID-NO 患児氏名

発症日 発症日齢 治療開始日齢 治療終了日齢

感染症入力

(臨床診断) 以下の条件のいずれか以上に該当する場合はカンジダを診断する

条件

- 2週間以内発症(発熱が認められる)
- 血象上昇 (WBC 15以上)
- 尿中 candida species 検出(尿試料の少なくとも1回検出が認められる)
- 血中 candida species 検出(1回検出が認められる)
- 尿中 candida species 検出(検出回数) 2回以上 又は 血中 candida species 検出(検出回数) 1回以上

CRP(最高値) 白血球(最高値) 血小板(最低値) 血液ガスBE(最低値)

原因菌種名

原因菌の性質

陽性検体材料 使用抗菌剤1 使用抗菌剤3

検体番号 使用抗菌剤2 使用抗菌剤4

検体保存

抗生物質感受性リスト (SIR)

薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果
A3PC		CAZ	R	AZT		MIND		CTX	
PIPC		CMZ		S/C		LVFX		CTRK	
C-EZ		LMOX		GM		OPFX			
CTM		IPM		AMK		BT			

併用治療

ヲグロゲン投与
 G-CSF投与
 外科的処置(穿刺・排膿)
 その他
 血液製剤投与
 交換輸血
 顆粒球輸注

備考欄

1. 基本情報入力ボタンを押下することにより、新生児基本情報入力画面に遷移する。
2. 施設情報入力ボタンを押下することにより、施設情報入力画面に遷移する。
3. 報告データ出力ボタンを押下することにより、サーベイランス提出用データ出力画面に遷移する。
4. 感染症入力欄での各感染症タブを選択することにより、当該感染症診断基準入力頁に切り替わる。

画面レイアウト	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門	作成日 平成 14 年 10 月 31 日
	新生児感染情報入力画面 (NTED)	作成者 シブサキプランニングコーポレーション

NTED

NICU感染症サーベイランス用感染情報 施設コード

<感染症関連データ> 患児 ID-NO 患児氏名

発症日 発症日齢 治療開始日齢 治療終了日齢

感染症入力

基本情報入力
施設情報入力
報告データ出力

肺炎 髄膜炎/脳室炎 尿路感染 敗血症 呼吸器 腸炎 菌血症 NTED 皮膚 泌尿 消化 呼吸 血液

検査項目
CRP 検査上昇 (1-5mg/dl)
血小板減少 (19万/mm³以下)

CRP (最高値) 白血球 (最高値) 血小板 (最低値) 血液ガス BE (最低値)

原因菌種名

原因菌の性質

陽性検体材料 使用抗菌剤1 使用抗菌剤3

検体番号 使用抗菌剤2 使用抗菌剤4

検体保存

抗生物質感受性リスト (SIR)

薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果
A3PC		CAZ	R	AZT		MINO		CTX	
PIPC		CMZ		S/C		LYFX		CTRX	
CEZ		LMOX		GM		CPFX			
CTM		IPM		AMK		ST			

併用治療

ヲグリン投与 G-CSF投与 外科的処置 (穿刺・排膿) その他
 血液製剤投与 交換輸血 顆粒球輸注

- 備考欄
1. 基本情報入力ボタンを押下することにより、新生児基本情報入力画面に遷移する。
 2. 施設情報入力ボタンを押下することにより、施設情報入力画面に遷移する。
 3. 報告データ出力ボタンを押下することにより、サーベイランス提出用データ出力画面に遷移する。
 4. 感染症入力欄での各感染症タブを選択することにより、当該感染症診断基準入力頁に切り替わる。

画面レイアウト	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門	作成日 平成14年10月31日
	新生児感染情報入力画面 (SSSS)	作成者 システムプログラミング部

NICU感染症サーベイランス用感染情報 施設コード

<感染症関連データ> 患児 ID-NO 患児氏名

発症日 発症日齢 治療開始日齢 治療終了日齢

感染症入力

敗血症 肺炎 髄膜炎/脳室炎 尿路感染 血液感染 皮膚 眼 口腔 耳鼻 SSSS 肝臓 その他

CRP (最高値) 白血球 (最高値) 血小板 (最低値) 血液ガスBE (最低値)

原因菌種名

原因菌の性質

陽性検体材料 使用抗菌剤1 使用抗菌剤3

検体番号 使用抗菌剤2 使用抗菌剤4

検体保存

抗生物質感受性リスト (SIR)

薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果
AEPC		CAZ	R	AZI		MIND		CTX	
PIPC		CMZ		S/C		LVFX		CTRX	
CZ		LMOX		GM		CPFX			
GTM		IPW		AMK		ST			

併用治療

アグロリン投与 G-CSF投与 外科的処置 (穿刺・排膿) その他

血液製剤投与 交換輸血 顆粒球輸注

- 備考欄
1. 基本情報入力ボタンを押下することにより、新生児基本情報入力画面に遷移する。
 2. 施設情報入力ボタンを押下することにより、施設情報入力画面に遷移する。
 3. 報告データ出力ボタンを押下することにより、サーベイランス提出用データ出力画面に遷移する。
 4. 感染症入力欄での各感染症タブを選択することにより、当該感染症診断基準入力頁に切り替わる。

画面レイアウト	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門	作成日 平成14年10月31日
	新生児感染情報入力画面 (肝炎)	作成者 シブサンプラニングコーポレーション

NICU感染症サーベイランス用感染情報 施設コード

<感染症関連データ> 患者ID-NO 患者氏名

発症日 発症日齢 治療開始日齢 治療終了日齢

感染症入力

基本情報入力
施設情報入力
報告データ出力

原因菌種名

原因菌の性質

陽性換体材料 使用抗菌剤1 使用抗菌剤3

換体番号 使用抗菌剤2 使用抗菌剤4

換体保存

抗生物質感受性リスト (SIR)

薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果
A3PC		CAZ	R	AZT		WIND		CTX	
PIPC		CMZ		S/C		LVFX		CTR	
C-EZ		LMOX		GM		OPFX			
DTM		IPW		AMK		ST			

併用治療

γグロブリン投与 G-CSF投与 外科的気管(穿刺・挿管) その他

血液製剤投与 交換輸血 顆粒球輸注

- 備考欄
- 基本情報入力ボタンを押下することにより、新生児基本情報入力画面に遷移する。
 - 施設情報入力ボタンを押下することにより、施設情報入力画面に遷移する。
 - 報告データ出力ボタンを押下することにより、サーベイランス提出用データ出力画面に遷移する。
 - 感染症入力欄での各感染症タブを選択することにより、当該感染症診断基準入力頁に切り替わる。

画面レイアウト	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門	作成日 平成14年10月31日
	新生児感染情報入力画面 (その他)	作成者 シスメック・ラボレーション

NICU感染症サーベイランス用感染情報 施設コード

<感染症関連データ> 患児 ID-NO 患児氏名

発症日 発症日齢 治療開始日齢 治療終了日齢

感染症入力

敗血症
 肺炎
 髄膜炎/脳室炎
 尿路感染
 腸炎
 NICU
 肺炎
 カンジダ
 NTBD
 SSSS
 肺炎
 その他

腸管炎
 腸穿孔
 ひびき肺炎
 肺炎
 結核
 外傷
 中耳炎
 腸炎
 心臓病
 心臓病
 呼吸器病
 腎臓病
 骨髄炎
 腸下痢
 腸下痢
 その他の感染(炎症部位不明)・CRP値(2以上)

CRP(最高値)
白血球(最高値)
血小板(最低値)
血液ガスBE(最低値)

原因菌種名

原因菌の性質

陽性検体材料 使用抗菌剤1 使用抗菌剤3

検体番号 使用抗菌剤2 使用抗菌剤4

検体保存

抗生物質感受性リスト(SIR)

薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果	薬剤名	検査結果
A3C		CAZ	R	AZI		MINO		CTX	
PIPC		CMZ		S/C		LYFX		CYRX	
C-EZ		LMOX		GM		CPFX			
CTM		IPW		AMK		ST			

併用治療

アグロリン投与
 G-CSF投与
 外科的処置(穿刺・排膿)
 その他
 血液製剤投与
 交換輸血
 顆粒球輸注

- 備考欄
1. 基本情報入力ボタンを押下することにより、新生児基本情報入力画面に遷移する。
 2. 施設情報ボタンを押下することにより、施設情報入力画面に遷移する。
 3. 報告データ出力ボタンを押下することにより、サーベイランス提出用データ出力画面に遷移する。
 4. 感染症入力欄での各感染症タブを選択することにより、当該感染症診断基準入力頁に切り替わる。

画面レイアウト	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門	作成日 平成14年10月31日
	Bellらによる新生児壊死性腸炎のStage分類表示画面	作成者 浜辺プランニングコーポレーション

Bellらによる新生児壊死性腸炎のStage分類

病期	全身徴候	腸管徴候	X線所見
1-A 疑い	体温不安定、無呼吸徐脈、嗜眠	授乳前の残留乳増加、軽度腹部膨満、嘔吐、便潜血陽性	正常あるいは腸管拡張、軽度イレウス
1-B 疑い	同上	鮮紅血便	同上
2-A 疑いまたは軽症	同上	同上、加えて腸管雑音の消失 (+/-) 腹部圧痛	腸管拡張、イレウス、腸管壁内ガス
2-B 中等症確定	同上、加えて軽度代謝性アシドーシス、軽度血小板減少症	同上、加えて腸管雑音の消失、明らかな腹部圧痛 (+/-)、腹壁硬直	同上、加えて門脈内ガス (+/-)、腹水
3-A 重症小腸穿孔(-)	2-Bと同じ、加えて低血圧、徐脈、重症無呼吸、混合性アシドーシス、DIC、好中球減少	同上、加えて汎腹膜炎、著明な腹部圧痛、腹部膨満	2-Bに加えて明らかな腹水
3-B 進行型小腸穿孔(+)	3-Aと同じ	3-Aと同じ	2-Bと同じ、加えて気腹

NECへ戻る

備考欄

1. NECへ戻るボタンを押下することにより、新生児感染情報入力画面 (NEC) に遷移する。

画面レイアウト	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU部門	作成日 平成14年10月31日
	施設情報入力画面	作成者 浜田プランニングコホレーション

NICU感染症サーベイランス用感染情報 施設コード

<施設の形態と規模および感染対策内容>

年間人工換気症例数 例 病棟の形態

NICU病床数 病棟勤務医師数 病棟勤務看護婦数

GCU病床数 医師当直回数(月) 看護婦の夜勤担当患児数

感染対策委員会 感染対策マニュアル カンジダ

ICT MRSA その他菌名

NICU感染係 緑膿菌

院内感染対策施行

院内感染対策施行項目

ガウンテック 手袋 隔離室入室 保菌患児検査・治療 その他

マスク 保育器隔離 独立看護単位 保菌職員検査・治療

<手洗い>

手洗い水 よく使う手洗い用消毒剤

次を使う手洗い用消毒剤

<手袋>

手袋の使用 手袋の使用: その他

手袋使用対象児 手袋の使用対象児: その他

<保育器消毒>

保育器使用後の終末消毒有無 終末消毒法 回数 1 / 日

(終末消毒とはホルマリンガスなどで滅菌すること)

毎日の保育器清拭消毒剤 保育器清拭消毒剤の濃度 %

<器具の個別化>

聴診器 体温計 メジャー はさみ テープ オリーブ油 筆記用具 ワセリン

<MRSA>

NICUからMRSAが消えた期間 MRSAが消失していた期間 ヶ月以上

職員のMRSA保菌率 % 最新実施年月 保菌職員のMRSA除菌

患児のMRSA保菌率 % 最新実施年月 保菌患児のMRSA除菌

保菌患児の消毒方法

他病棟におけるMRSA定着 MRSA陽性病棟とNICU職員交代

<特殊治療>

超早期授乳 抗真菌剤経口予防投与

ピフィズ菌数抑制剤予防投与 気管内抗生物質予防投与

予防的IgG投与

- 備考欄
1. 基本情報入力ボタンを押下することにより、新生児基本情報入力画面に遷移する。
 2. 感染症入力ボタンを押下することにより、新生児感染情報入力画面(敗血症)に遷移する。
 3. 報告データ出力ボタンを押下することにより、サーベイランス提出用データ出力画面に遷移する。

画面レイアウト	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門	作成日 平成14年10月31日
	サーベイランス提出用データ出力画面	作成者 沼田 洋子

サーベイランス提出用データ出力

報告対象期間 ~

備考欄

1. 報告対象期間欄に提出用データとして作成する対象期間を入力した後に、実行ボタンを押下して出力先などの指定をするとサーベイランス提出用データを作成出力する。
2. 基本画面へ戻るボタンを押下することにより、新生児基本情報入力画面に遷移する。